

浜松市教育研究会技術科研究部第3回研究推進委員会

1 日時 令和2年8月7日(金) 13:30～

2 会場 浜松市立雄踏中学校 パソコン室

3 議事内容

(1) 顧問校長講話

新指導要領施行に向けて、浜松の教員（特に免外で授業をしている先生）が困らないように、「浜松モデル」の教材開発や、年間指導計画、評価について、浜松の技術科教員で考えていこうというお話がありました。

(2) 本年度の研究について

① アンケート結果について

技術科の授業でどのような教材を使っているのか、予算はどのくらいか等、浜松の授業の現状を知ることができました。

② 各グループから経過の報告と課題について

・年間指導計画グループ

新指導要領施行後の年間計画について、2つ程度の流れに絞り、浜松としてどのように取り組んでいくか話し合いが行われました。

・評価グループ

3観点の評価になるにあたって、具体的な評価の方法について、話し合いが行われました。特にこれまで別の観点で評価していた技能と知識については今後の評価について濃い話し合いが行われました。

・題材開発グループ

「スクラッチ」



「プロッチ」を用いた、双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決学習の教材を提案しました。実際に実践を行った学校では、生徒の反応も良く、計測・制御との内容とも絡めて学ばせることができたということでした。課題としては、コストがかかることや、評価方法等が挙げられ、今後検討していく予定です。

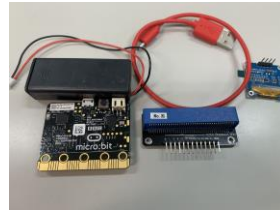
「ドリトル」

近年ではスマホなどでのゲームが流行する中、ドリトルを用いてネットワークを介して他者とやり取りのできるゲームを制作する教材を提案しました。コストが全くかからず、誰でもチャレンジできる教材です。課題としては、言語でのプログラミングとなるため、理解度に差があることが挙げられ、今後検討します。



「micro:bit」

micro:bit というマイコンを用いた、計測・制御の教材を提案しました。マイコン自体に様々なセンサが搭載されており、多様な用途に用いることができます。今回の研修では、教員も実際に体験することで見通しをもつことができました。課題としてはコストがかかる点、応用編となると追加で部品が必要になる点が挙げられました。今後検討していきます。



・研究テーマグループ

教員が大切にしていくことや、これからの社会の在り方を踏まえてテーマの検討が行われました。

(2) 今後の予定

・9月下旬～10月上旬 第4回研推 素案づくり
(状況に応じて10月中に1～2回行うかも)

・第3回研修会（11月4日）にてそれぞれのグループから提案

(3) その他